

タイ王国空軍との軍事訓練を実施 *Yokota pairs with Royal Thai Air Force for training*

April 11, 2022

374th Airlift Wing Public Affairs

米空軍横田基地とタイ王国空軍の空兵は、3月27日から4月2日、タイのドンムアン空軍基地においてC-130の交換見学および訓練に参加した。

今回の交流では、米・タイ間の強固な同盟関係を強化し、両軍の将来的な協力関係を築くことに重点が置かれた。

数十年に渡る米国とタイとの同盟関係で、第374空輸航空団はパートナーのタイ王国空軍との交流を優先してきた。

第36空輸中隊C-130J教官パイロットのギャレット・マザチェック大尉は、「我々の戦略目標に『自由で開かれたインド太平洋』がある。「我々がここ(タイ)を訪れ、道を開くことで、将来戻って来やすくなる」とコメントした。

今回は、横田とタイ王国空軍の空兵が互いのC-130JとC-130Hの機体を見学し、それぞれの職歴や任務、将来のビジョンについてブリーフィングを行う機会が設けられた。

第36空輸中隊戦術監督官ウィリアム・フレッシュリー曹長は、「他の空軍との関係を築くことはいつにおいても重要だ」「彼らが我々の任務をよりよく理解し、我々も彼らの運用の仕方をよりよく理解できるよう、時間を共有することが重要だ」と述べた。

横田基地の二国間交流の取り組みは、パンデミック下でもアメリカ空軍とタイ王国空軍との絆が保たれてきた一つの証である。

